病児保育室とう太通信

vol.12

病児保育特集

～野洲市の病児保育のこれまでとこれからについて～

うえだこどもクリニック院長　上田　達哉

病児保育室とう太は2017年6月に野洲市で初めての病児保育室としてオープンしました。

野洲市役所こども課のお力添えと、地域の皆様の暖かいご支持のお陰で、オープン翌年より滋賀県内で最多の利用者数を誇る病児保育室に成長する事が出来ました。

病児保育は大人の就労を支援するための単なる託児ではありません。病気の時であってもその子の発達と成長を保育士と医療者がチームを組んで支援する子ども支援であり、野洲市内のお子さんが病気の時に当たり前のように通うことができるもう一つの保育園となることを我々は目指しています。

皆様にとって更に病児保育が身近になるようにという想いを込め2020～2021年にかけて当施設で行ったアンケート調査や学会での発表をまとめてみましたので是非御覧ください。

病児保育って何？

お子さんが病気で、いつもの保育園に登園できない時に通うもう一つの保育園です。未就園児でも家庭の事情などで保育を必要とするお子さんは使えます。

病児保育の歴史

1960年大阪府枚方市香里団地に働く母親達のために小児科医の保坂先生が診療所の隣室に保育室を設けたことが始まりです。現在では国の支援もあり全国で3,000施設を超えるまでになりましたがまだまだ充足しているとはいえません。

なんと4年連続 滋賀県No1の利用者数

開院翌年の2018年度には年間利用者数が1,000名を超えました。
野洲市の人口は5万人。それに対して病児保育室が6施設もある人口34万人の大津市で年間トータル2,000名程度の利用者数ですから、いかにとう太が多くの方に利用頂いているのかがお分り頂けるのではないでしょうか。

リクエストが簡単

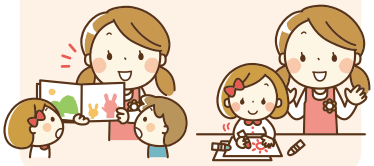
事前の説明会参加はなくても利用当日に対応可能、スマホで申込ができます!
多くの市町村では前日の診察が必須であったり、利用登録のために説明会に事前参加が必要でなかなか当日利用がしにくかったりします。
困ったときにすぐに対応できるのがとう太の自慢です。

すぐそばにある病児保育室

野洲市の病児保育はなんと市内未就学児の4人に1人以上のお子さんが利用しています!
とある全国調査によると、日本国内で病児保育を利用経験のある児童は全体の11%。年間出生数が370人程度の野洲市において、コロナ禍で利用者の減少した2020年度でも新規利用者は105名でした。
野洲市の病児保育は全国的にみても断トツに身近な存在である証拠ではないかと考えています。

少人数で手厚い保育
（時には保育士の先生を独り占め）

病児保育は保育士1名に対して病児3名までと決められています。
お互いの感染症がうつらないように配慮しますので実際は保育士が専属でひとりのお子さんに付きっきりになることも珍しくありません。



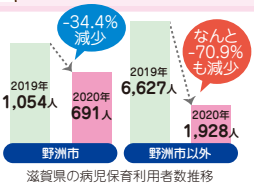
保育現場との顔の見える関係づくりを重視しています ～全国でも類を見ない訪問型巡回支援～

当院では病児保育事業の一環として市内全ての認可保育所・こども園に当院の職員が出向き訪問指導を行っています。

看護師は園職員に指導
▼
感染対策や医療知識の指導

普段とう太をよく利用するお子さんの園での様子を垣間見たり、訪問指導の様子を家で保護者の方に伝えてくれるお子さん達の話を外来で聞くととう太の職員にとっても大変励みになりとてもよい好循環が生まれます。巡回支援により保育現場と密に関わりを持つことで、地域全体の子ども達の健康を支えることができます。また地域の施設職員が医療的知識に対しての理解を深めることは保育の質の向上にも繋がります。

保育士は園児を対象に指導
▼
手洗い
マスクのつけ方
鼻のかみ方
排便習慣



滋賀県の病児保育利用者数推移

このコロナ禍で病児保育室の利用者は激減しましたが、滋賀県全体での減少率は66%であるのに対しとう太の減少率は34%。
野洲市だけ際だって減少率が低く、**新規利用者に至っては前年より増加しておりました。**これは開院以来巡回支援を通じて地域との顔の見える関係づくりを重視してきた結果であると考えております。
巡回支援は価値ある地域支援・子育て支援であり今後の病児保育事業の大きな可能性であると考えております。

裏面に続きます

病児保育室利用に関してのアンケート調査から

**病児保育に預けるのは可哀想?
かえって病気をもらう?**

病児保育の利用をためらう最大要因は子どもが可哀想･病気の時は家族がみるべきという心理的ハードルで、一度でも利用することでその懸念はほぼ解消します。

当院の調べでは病児保育の利用を経験することにより病児保育に預けることを可哀想と感じる割合は19.7%から2.5%に（図1）、かえって病気がうつるという懸念を感じる割合も22.2%から7.5%に著明に減少しました（図2）。

コロナ禍まっただ中の2020年4月におこなった調査でもこのような結果を得たことは我々にとっても大きな自信につながりました。もちろん、とう太ではお受けするお子様の疾患別に保育士を配置し、手洗い換気はもちろん毎日使用したおもちゃは全て丁寧に消毒を行います。また全国でも多くは普及していないオゾン消毒器で定期的に部屋中をまるごと消毒を行っております。

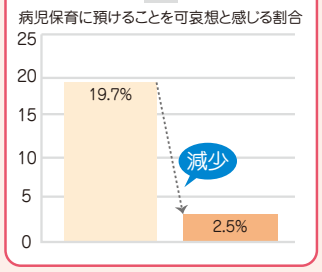
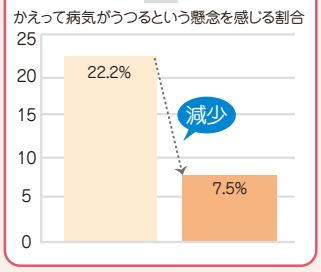
図1


図2


全国初の病児保育室利用料無償化を行って

**4月より
基本利用料金を2,000円から
1,000円に変更します**

2020年4月の緊急事態宣言の際に喘息の咳でさえ白い目で見られ、元気であるにも関わらず連日受診を強いられ、不本意に来院された親子の姿をみた当院の保育士スタッフの**「こんな時にウチの保育室が無料で使えたら良いのに」**のひと言がきっかけとなり**当院はこの2年間病児保育利用料を無料**にしました。多くの方に利用を頂きましたが残念なことに病気では無いのに一時保育代わりに利用された不適切利用のケースも数例経験しました。

また利用料無償化による減収補填も望めないため年間の事業赤字は膨大になりました。事業の継続のためにもある程度の経済的ハードルはやむを得ないと判断し、**2022年度より基本料金を1,000円に設定**することにします。

無償化前は2,000円でしたのでこれでも頑張っているとご理解いただけますと幸いです。

～とう太が目指すこと～

**ここまで読んで下さった皆様
本当に有難うございました!**

病児保育室を利用頂いた皆様に送付したアンケートでは**75%もの方が回答して下さり**、無記名であったにも関わらず多くの方が実名と共に我々に温かい労いと感謝のコメントを記載して下さいました。

この場をお借りして**心から御礼申し上げます**。皆様からの溢れんばかりの感謝の言葉は、我が国の子育て環境が不十分である事の裏返しであるとも言えます。特に女性は今まで以上に出生数の維持と労働力を期待されるにも関わらず男女間には明らかな収入の格差さえも存在します。このような現状で安心して子育てをするために必要なことは身近に正しい医療情報に簡単にアクセスできて病気の時であっても安心安全な顔の見える関係の**病児保育が保育現場と連携を取りながら提供**され、せめて最低限安心して社会活動ができるように整備する事ではないでしょうか。

我々の保育室が少しでもその役に立つことができれば幸いです。

それでは皆様、今後ともどうかよろしくお願いいたします。

病児保育室とう太 併設 うえだこどもクリニック UEDA CHILDREN'S CLINIC

〒520-2331 野洲市小篠原869番地1 077-596-3751

↑web予約受付は
コチラから